

## 令和元年度第2回長崎県後期高齢者医療広域連合懇話会 開催結果概要

- 1 開催日時 令和元年12月17日（火）14時02分から16時10分まで
- 2 開催場所 長崎市栄町4番9号 長崎県市町村会館 4階 第2会議室
- 3 出席委員 10名  
山崎会長、小田口副会長、宮田委員、伊藤委員、永淵委員、大貝委員、藤井委員、俣野委員、堀委員、宮本委員
- 4 傍聴者 なし

### 5 会議の概要

#### (1) 議題等

第1号 令和2・3年度の保険料（案）について

第2号 第3次広域計画の策定について

第3号 第2期データヘルス計画の評価について

#### (2) 委員からの主な意見

第1号 令和2・3年度の保険料（案）について

- ① 保険料が上がるとのことだが、低所得者にとっては非常に厳しいことだと思う。

第2号 第3次広域計画の策定について

- ① 一体的実施について、市町村の方はボトムアップで地域づくりを行っている。医療専門職がコーディネーターを務めることは難しいと思う。
- ② 一体的実施のコーディネーターは、地域や医療の事を十分理解して各関係機関との調整を行いながら引っ張っていける人でなければならない。
- ③ 日常生活圏域単位で財源確保できるのはとても良いことだ。
- ④ 現状と課題については、老人クラブでお薬手帳を作ることを推進しているので、重点を置いてほしい。
- ⑤ 地域でもお薬手帳の普及に努めている。かかりつけ医を持つことは大切だと思う。
- ⑥ かかりつけ医を持って、薬も一元管理していきましょうといった施策を行っていることが具体的に分かった方がよい。
- ⑦ 医療費を上げないための取り組みの中にポリファーマシー対策を後押しするような施策があると有り難い。

第3号 第2期データヘルス計画の評価について

- ① 健康診査の受診率算定においては、対象者から原爆関係の健診受診者数を除けば長崎市の受診率が上がるのではないか。
- ② 口腔ケア事業では、無関心者をどうやって医療に繋げるかが大事であり、健康寿命延伸のためには食べて動くことが一番である。
- ③ 訪問指導事業については、どういう基準でどういう指導をしているのか、事例があれば良い。